

インターネット CMS・YCAN CMS 共通操作マニュアル

【リッチテキストエディタの使い方】

第 1.0 版

平成 24 年 5 月 31 日

1	リッチテキストエディタの使い方	1
1.1	リッチテキストエディタとは.....	1
1.2	基本的な編集手順(文字入力と見出し設定).....	4
1.3	箇条書きを入力する.....	6
1.4	表を作成する.....	7
1.5	画像を挿入する.....	9
1.6	リンクを挿入する.....	11
1.7	Word、Excel、PDF ファイル等へのリンクを張る.....	13
1.8	Word で作成済みの文書をコピーして作成する.....	16
1.9	作成済みの HTML ファイルを取り込んで作成する.....	17
1.10	作成済みの HTML ソースを貼り付けて作成する	18

1 リッチテキストエディタの使い方

1.1 リッチテキストエディタとは

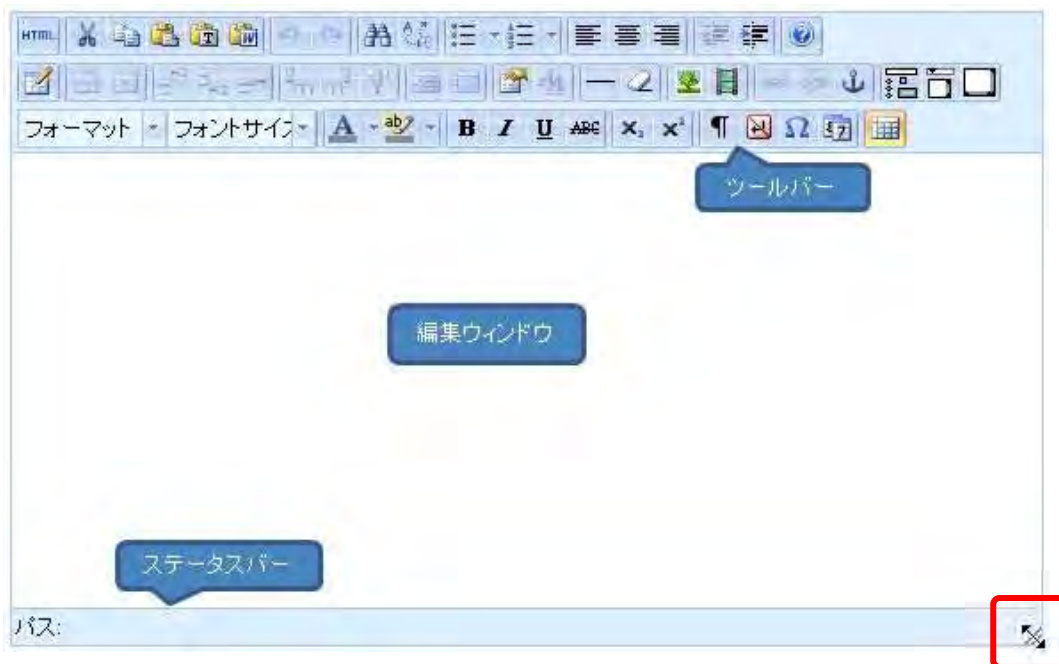
データ定義において属性を「リッチテキスト」に指定した場合に、「簡易ページ作成」画面に、リッチテキストエディタが表示されます。

リッチテキストエディタでは、ツールバーボタンやドロップダウンリストを使用することによって、Word 等に似た操作方法で編集作業を進めることができます。各アイコンの意味については以下を参照してください。

また、Word で作成済みの文書をコピーし、エディタに貼り付けることによって、ある程度の体裁を残したまま HTML 化することや、HTML タグを使用した編集も可能です。

本マニュアルでは、Word 文書からの貼り付けや HTML タグを使用した編集、画像の挿入、リンクの設定方法等について、説明します。

















【入力画面】



入力画面を拡大/縮小するには、画面右下にマウスカーソルを合わせ、矢印が表示された状態で、ドラッグ操作します。
拡大: 右下方向へドラッグ
縮小: 左上方向へドラッグ

【メニュー】

ボタン	説明	詳細
	HTML ソース編集	HTML ソースを表示または編集します。
	切り取り	選択した内容を切り取ります。
	コピー	選択した内容をコピーします。
	貼り付け	コピーした内容を貼り付けます。
	テキストとして貼り付け	コピーした内容を書式なしで貼り付けます。
	Word から貼り付け	ワードからコピーした内容を貼り付けます。
	元に戻す	最後に行った操作を元に戻します。
	やり直し	取り消した操作をやり直します。
	検索	文字列を検索します。
	検索/置換	文字列を検索/置換します。
	番号なしリスト	選択した文字列を記号付きの箇条書きにします。
	番号つきリスト	選択した文字列を番号付きの箇条書きにします。
	左揃え	テキストを左詰めに配置します。
	中央揃え	テキストを中央に配置します。
	右揃え	テキストを右詰めに配置します。
	インデント解除	インデントを解除します。
	インデント	インデントを適用します。
	表を挿入	新しい表を挿入します。
	行のプロパティ	選択した表の行のプロパティを表示または編集します。
	セルのプロパティ	選択した表のセルのプロパティを表示または編集します。
	行を上挿入	行を上挿入します。
	行を下挿入	行を下挿入します。
	行を削除	行を削除します。
	行を左挿入	行を左挿入します。
	行を右挿入	行を右挿入します。
	列を削除	列を削除します。
	セルの結合を解除	セルの結合を解除します。
	セルを結合	セルを結合します。
	水平線	現在のカーソルの位置に水平線を挿入します。

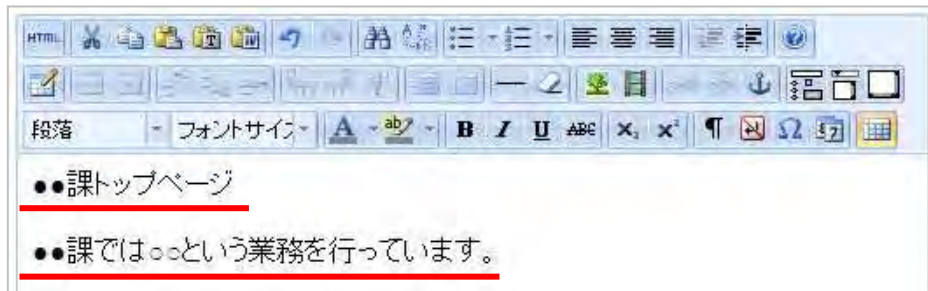
	フォーマット解除	選択した文字列のフォーマットを取り消します。
	画像の挿入/編集	画像ファイルから画像を挿入します。
	埋め込みメディアの挿入/編集	マルチメディア ファイルからメディアを挿入します。
	リンクの挿入/編集	選択した文字列のリンクを挿入または編集します。
	リンク解除	選択した文字列のリンクを解除します。
	アンカーの挿入/編集	アンカーを挿入または編集します。
	インプット部品の挿入/修正	インプット部品を挿入または修正します。
	セレクト部品の挿入/修正	セレクト部品を挿入または修正します。
	テキストエリアの挿入/修正	テキストエリアを挿入または修正します。
--フォーマット--	フォーマット	段落フォーマットを変更します。
--フォントサイズ--	フォントサイズ	選択した文字列のフォント サイズを変更します。
	文字色	選択した文字列の文字色を設定します。
	背景色	選択した文字列の背景色を設定します。
B	太字	選択した文字列を太字にします。
<i>I</i>	斜体	選択した文字列を斜体にします。
<u>U</u>	下線	選択した文字列に下線を適用します。
ABC	打ち消し線	選択した文字列に打ち消し線を適用します。
_{x₂}	下付き	選択した文字列に下付きを適用します。
^{x²}	上付き	選択した文字列に上付きを適用します。
¶	制御文字の表示	制御文字 を表示します。
	NBSP(固定スペース)	NBSP(固定スペース)を挿入します。
	特殊文字	特殊文字を挿入します。
	日付の挿入	今日の日付を挿入します。
	ガイドラインと非表示項目の表示切替	通常表示されない部品の表示を切替えます。
	ヘルプ	WCE リッチボックスのユーザガイドを表示します。

1.2 基本的な編集手順(文字入力と見出し設定)

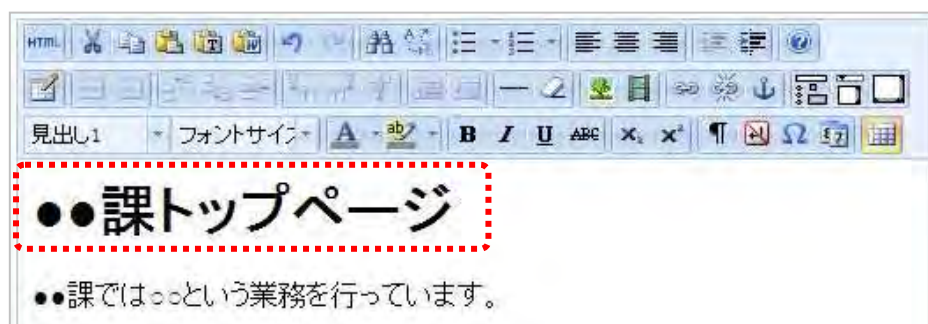
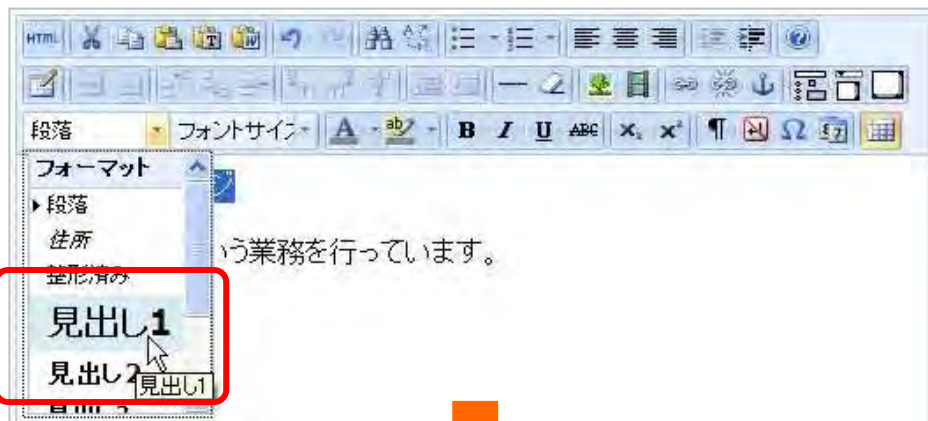
1. 通常のテキスト入力欄と同様の方法で、文字列を入力します。

※リッチテキストエディタで段落(P タグ)を入力する場合は、Shift キーを押しながら Enter キーを押します。

Enter キーのみを押した場合は、改行(BR タグ)が挿入されます。



2. 見出しとして指定する文字列を選択した状態で、左上のプルダウンメニューから「見出し 1」を選択します。



POINT 「見出し」とは

- 以下の観点により、強調文字列は文字列のフォントサイズを大きくするのではなく「見出し」として指定して下さい。
- ・音声読み上げソフトをご利用の方に対しても、見出し(強調文字列)として伝える事ができます。
 - ・「見出し」として指定する事により、スタイルシートによる表示スタイル(文字サイズ/背景色等)指定が可能です。

【注意事項】 独自のスタイルシート(CSS)を利用している場合

※ページで独自のスタイルシート(CSS)を設定して利用している場合、リッチテキストエディタでの編集時にはその独自スタイルが適用されず、プレビューや公開された時にのみ独自スタイルが適用されます。

(例)見出し 1 に独自スタイルが指定されている場合

【リッチテキストエディタ】



【プレビュー/公開ページ(例)】



リッチテキストエディタ上ではスタイルは適用されません。

「見出し 1」を指定すると、HTML ソースに<h1>タグが挿入されます。

ページで独自のスタイルシートを読み込んでいる場合に、<h1>タグのスタイルが例えば下記のように指定されていると、プレビューや公開ページでスタイルが適用された状態で表示されます。(上記)

【HTML ソース】

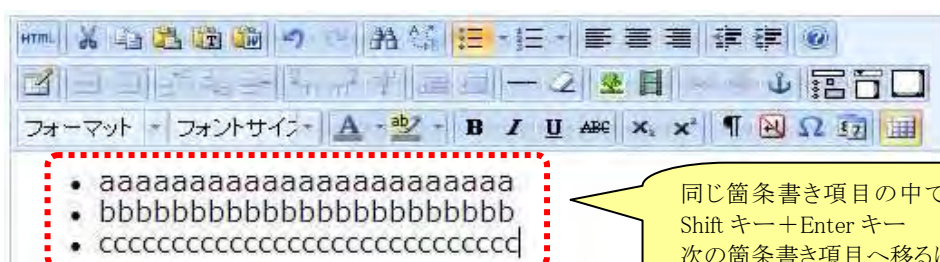
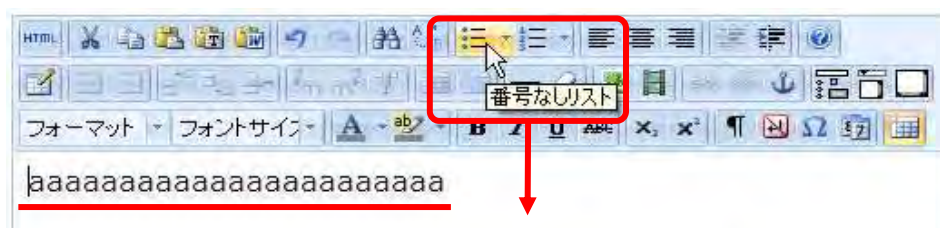
```
<h1>●●課トップページ</h1>
```

【CSS 内の指定(例)】

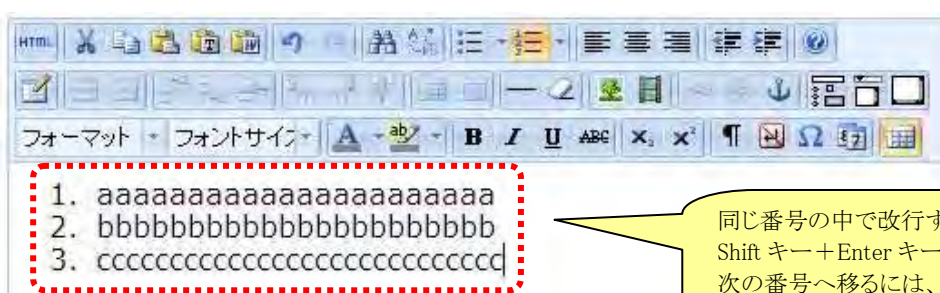
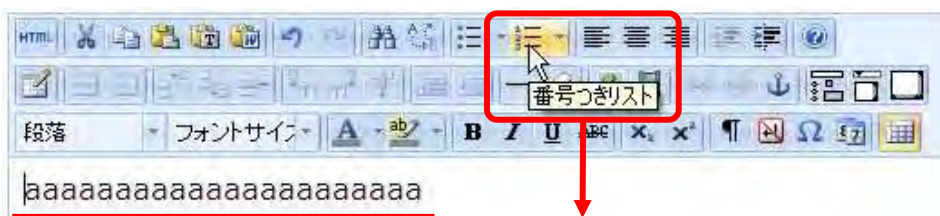
```
h1 {
    clear: both;
    margin: 10px 0px;
    padding: 5px 5px 5px 7px;
    background-color: #E6F5D6;
    border-top: solid 2px #4DA23D;
    border-bottom: solid 1px #CCC;
    font-size: 130%;
    color: #336633;
    line-height: 130%;
}
```


1.3 箇条書きを入力する

1. 入力した文字列を箇条書きにするには、入力した文字列を選択した状態または入力した文字列の先頭にカーソルを合わせた状態で、右上に表示されている「番号なしリスト」ボタンをクリックします。



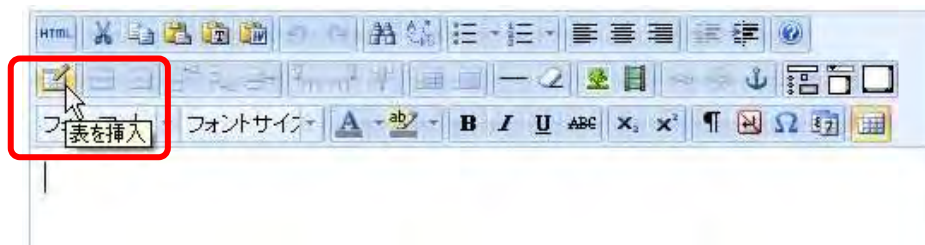
2. 入力した文字列を番号つきリストにするには、入力した文字の先頭にカーソルを合わせた状態で、右上に表示されている「番号つきリスト」ボタンをクリックします。



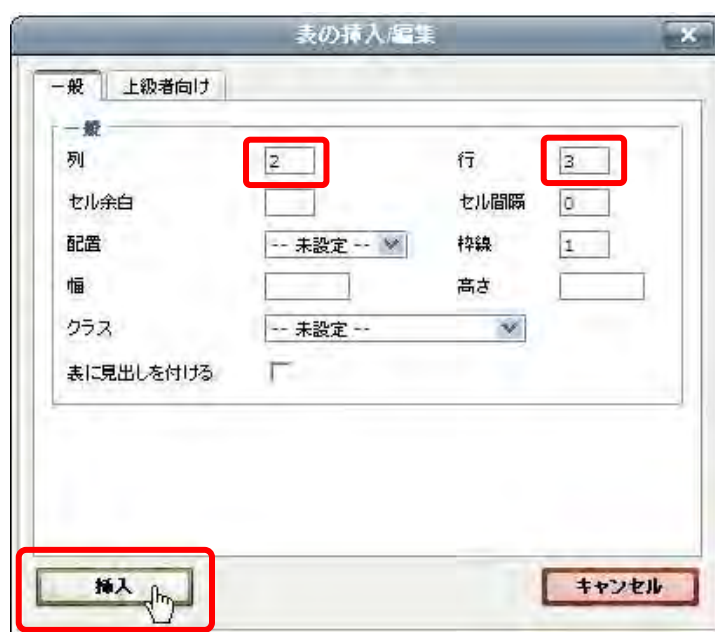
※複数行を選択した状態で「番号なし/番号つきリスト」を指定した場合は、改行コードまでが同じ箇条書き項目となります。

1.4 表を作成する

1. 「表を挿入」ボタンをクリックします。

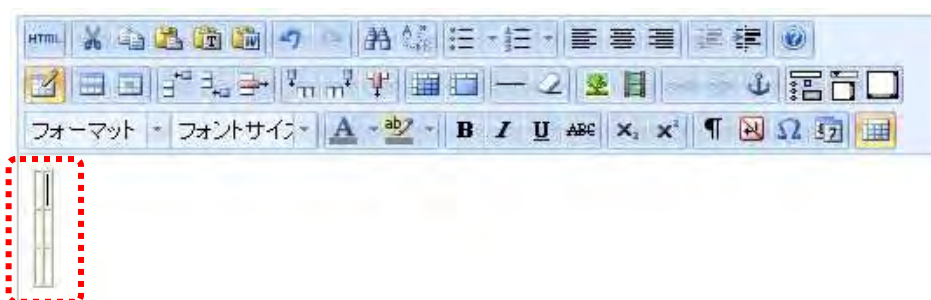


2. 列数(横方向のセル数)と行数(縦方向のセル数)を指定し、「挿入」ボタンをクリックします。

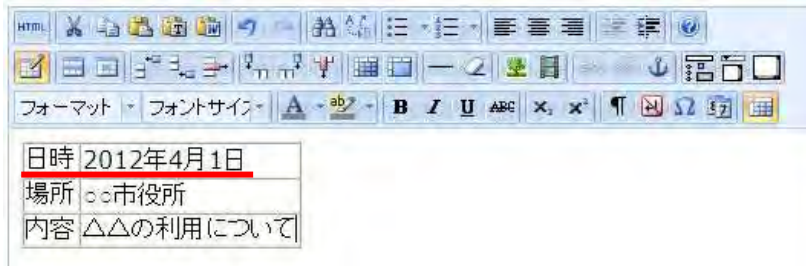


※表全体を「中央揃え」にする場合は、「配置」から「中央揃え」を選択します。

3. [表の挿入/編集]ウィンドウが閉じ、リッチテキストエディタに表が挿入されます。

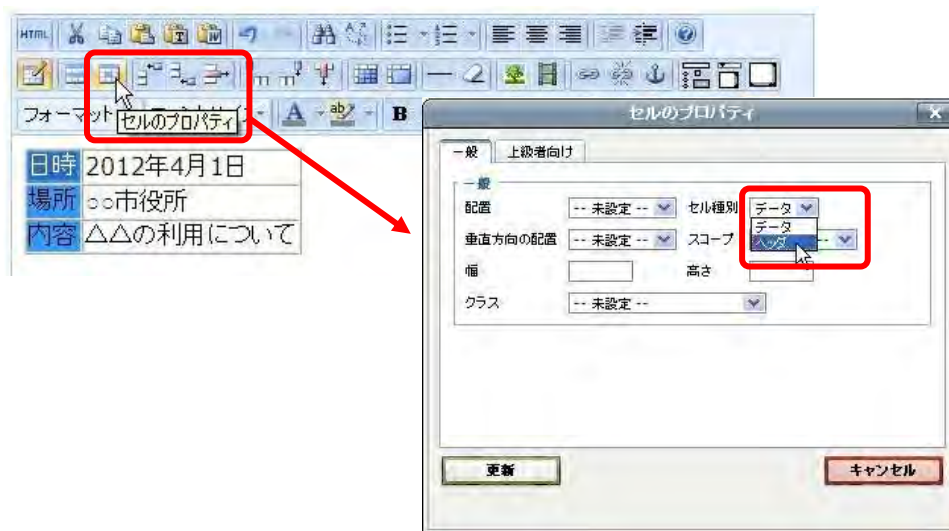


4. 表の中に文字列を入力します。



5. 表には見出しセルを設定する必要があります。(段組等のレイアウトを目的とした表を除きます。)

見出しセルを指定するには、「見出し」として設定するセルを選択した状態で、[セルのプロパティ]ボタンをクリックします。(複数セルに対し設定する場合は、ドラッグ操作で選択して同様の操作を行います。)

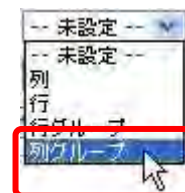


6. 「セル種別」を「データ」から「ヘッダ」に変更し、見出しとして設定します。
(セルの幅を設定する場合も、この[セルのプロパティ]ウィンドウから指定してください。)。

7. 見出しの「スコープ」を設定します。

設定した見出しが列方向(横方向の情報)の見出しの場合:列のグループ

設定した見出しが行方向(縦方向の情報)の見出しの場合:行のグループ



8. [更新]ボタンをクリックして、[セルのプロパティ]ウィンドウを閉じます。

→HTMLソースには、「見出し」として指定した箇所に TH タグが挿入されます。

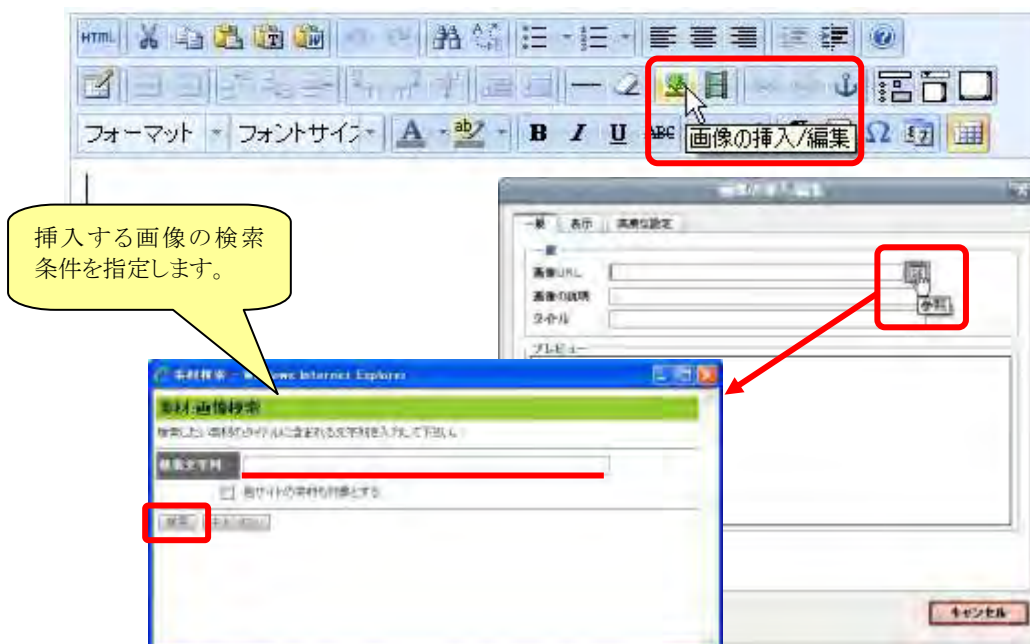
POINT 「見出しセル」とは

セルの「見出し」は、次のような観点において設定が必要です。

- ・音声読み上げソフトをご利用の方に対しても、見出しセルやその範囲を正しく伝える事ができます。
 - ・「見出し」用の表示スタイル(文字サイズ、背景色など)を、スタイルシートで一括適用する事ができます。
- レイアウトを目的とした表の場合は見出し設定が不要である為、5.~8.の操作は不要です。

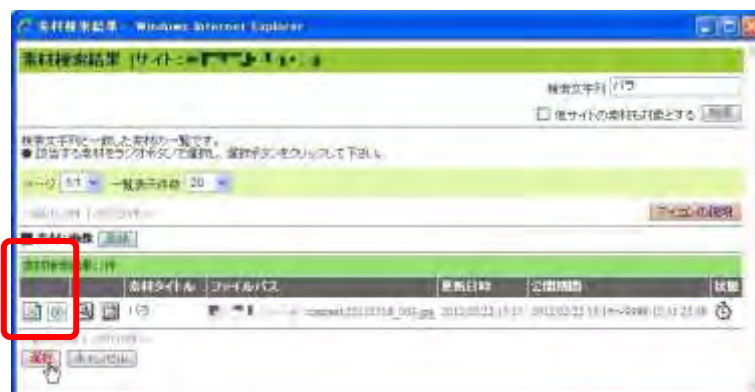
1.5 画像を挿入する

1. 画像を挿入したい箇所を選択した状態で「画像の挿入/編集」ボタンをクリックし、[参照]ボタンをクリックします。⇒[素材検索]画面が表示されます。



2. [素材検索]画面で検索条件を入力し、[検索]します。
(検索条件例: 素材名、ファイル名、「.jpg」等の拡張子)
素材を予め登録しておく方法については、【ページ編集者/承認者】マニュアル「10.1 素材を登録する」を参照して下さい。
新規登録する場合は素材の検索結果一覧画面の「登録」ボタンから登録する事ができます。

3. [素材一覧]画面から、挿入する画像を[選択]します。



※このとき「画像 URL」には、CMS 独自のプレビュー用 URL が入りますが、公開時は本来の URL パスに置き換わる為、変更する必要はありません。

4. 「画像の説明」に、画像の代替テキストを設定します。

代替テキストとは:

音声読み上げソフト等を利用している方にも、正しく情報を伝達する為の説明です。

設定すると、HTML ソース上に alt="代替テキスト"として挿入されます。

初期値として画像ファイル名が挿入される為、次のように修正して下さい。

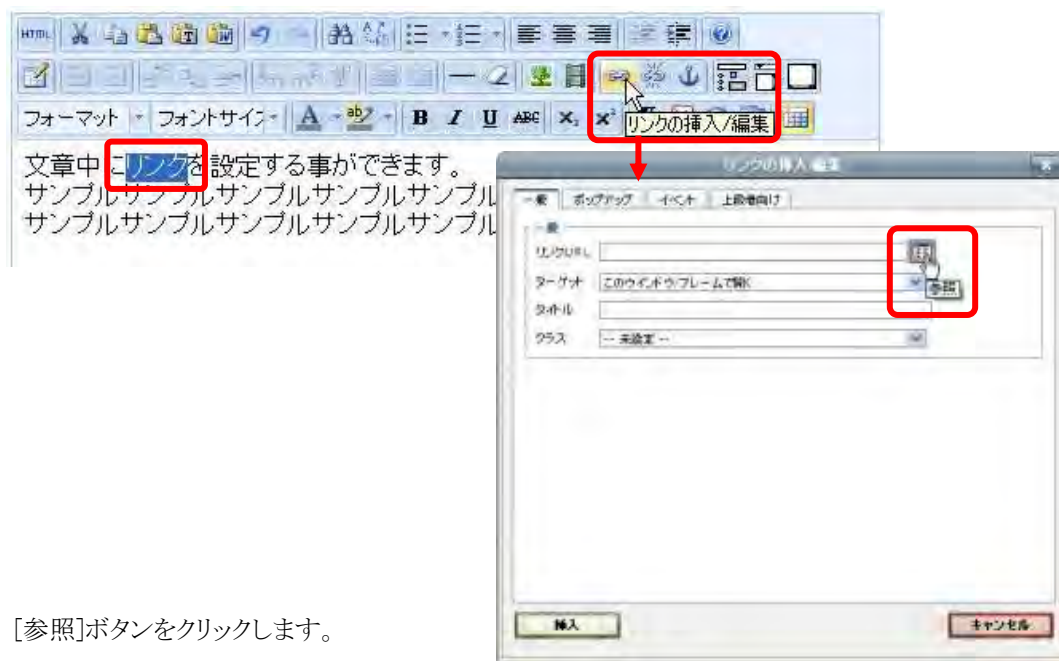
- 飾り画像の場合:削除
- その他:代替テキストとして適切な文言

5. プレビューを確認し、[挿入]ボタンをクリックします。



1.6 リンクを挿入する

1. リンクを設定する文字列を選択した状態で、[リンクの挿入/編集]ボタンをクリックします。
⇒[リンクの挿入/編集]ウィンドウが表示されます。

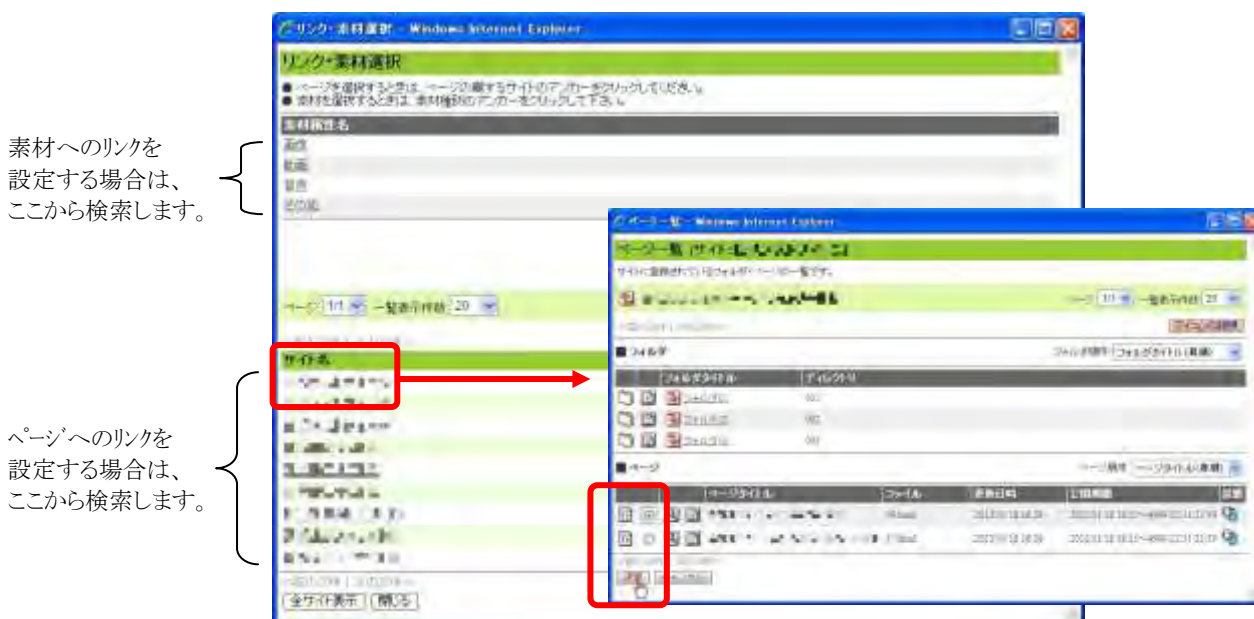


2. [参照]ボタンをクリックします。

～内部ページ(または素材)へのリンクを挿入する場合～

3. [リンク・素材選択]画面から、リンク先として指定するページ(または素材)を指定し、[選択]ボタンをクリックします。⇒[リンクの挿入/編集]ウィンドウに戻り、「リンクの URL」欄が設定されます。

ページと素材の区分については、P12「ページと素材の区分について」を参照ください。



※このとき「リンク URL」には、CMS 独自のプレビュー用 URL が入りますが、公開時は本来の URL パスに置き換わる為、変更する必要はありません。

POINT 「ページと素材」の区分について

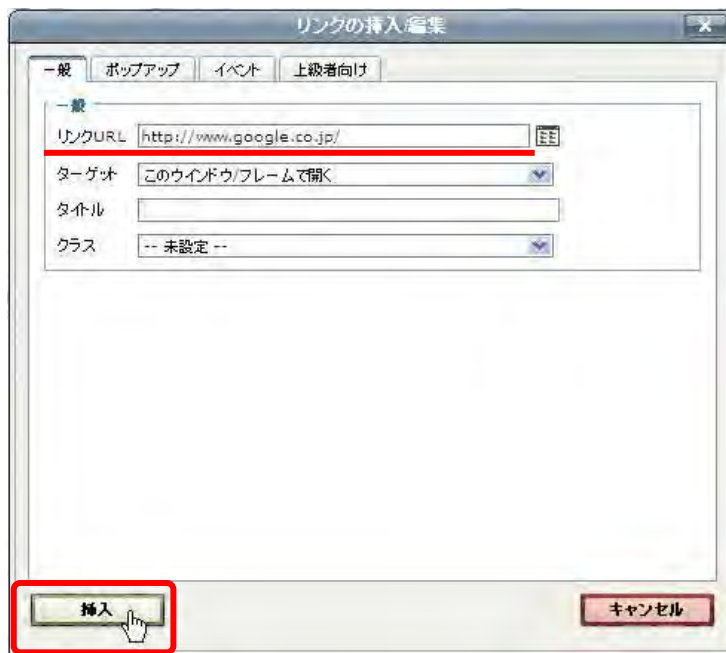
WCEでは、PDF等をHTMLと同じようにページとして扱う事や、添付ファイルのように素材として扱う事ができます。ページまたは素材の区分は、システム管理者によって次のように定義されています。

インターネット CMS	ページ	.html .css .js .pdf .doc .xls .ppt
	素材	上記以外の登録許可されている拡張子
YCAN CMS	ページ	.html .css .js
	素材	上記以外の登録許可されている拡張子

～外部ページへのリンクを挿入する場合～

3. [リンクの挿入/編集]ウィンドウで、「リンク URL」欄に直接リンク先の URL を入力します。

※「ターゲット」では、新しいウィンドウで開く設定などが可能ですが、アクセシビリティの観点からこの設定変更はしないようにしてください。



4. 「挿入」ボタンをクリックすると、[リンクの挿入/編集]ウィンドウが閉じ、選択していた箇所にリンクが挿入されます。



1.7 Word、Excel、PDF ファイル等へのリンクを張る

PDF、Word、Excel、動画等、ブラウザが標準対応していない種類のファイルにリンクする手順について説明します。

リンク先ファイルのアップロード

あらかじめ、リンクしたいWord、Excel、PDF 等のファイルを登録しておきます。

登録方法は【ページ編集者/承認者】マニュアル「11.1 素材を登録する」を参照して下さい。

リンク先ファイル形式及びファイルサイズの明示

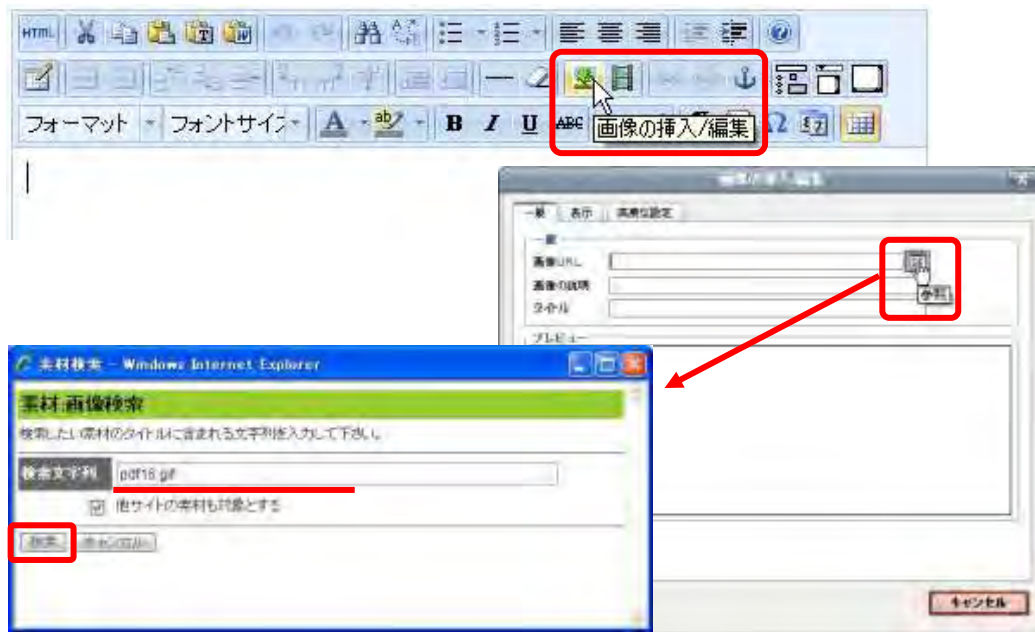
PDF、Word、Excel、動画等、ブラウザが標準対応していない種類のファイルにリンクする場合は、クリックする前にリンク先のファイルの種類がわかるように、リンクする文字列の頭にファイルの種類を示すアイコンを挿入し、後ろに「(PDF 形式、35KB)」のようにファイル形式及びファイルサイズを記載します。

例:  [〇〇について](#) (PDF 形式、35KB)

以下は、PDFファイルにリンクする場合の手順です。

1. まず、アイコンを挿入します。(手順は、「1.5 画像を挿入する」と同様です。)

アイコンを挿入する箇所を選択した状態で「画像の挿入/編集」ボタンをクリックします。



2. 「参照」ボタンをクリックし、検索文字列に「pdf16.gif」と入力して検索します。

これはリンク先が PDF ファイルの場合の例であり、その他、主なものとして以下があります。

Word 文書 → doc16.gif

CSV ファイル → csv16.gif

Excel ブック → xls16.gif

ZIP 圧縮書庫 → zip16.gif

PowerPoint プレゼンテーション → ppt16.gif

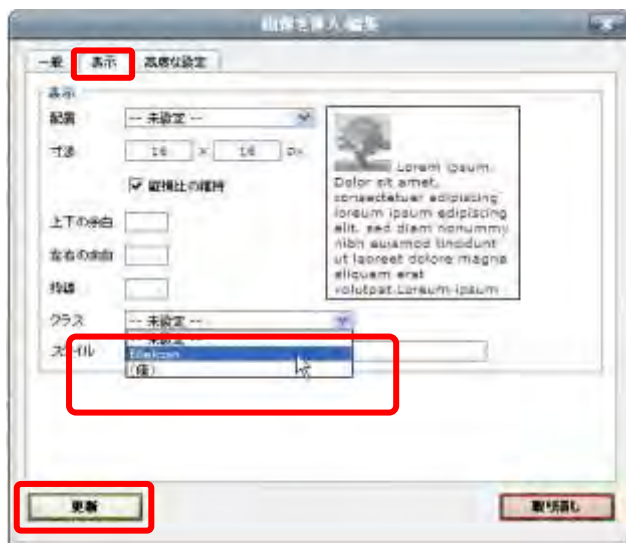
それ以外にアイコンが用意されているファイルの種類の一覧は下記 URL を参照ください。

<http://inw1.office.ycan/b/so/it/webkoushin/icon.html>

3. 素材検索結果からファイルを選択すると、[画像の挿入/編集]ウィンドウの[プレビュー]に PDF アイコンが表示されます。[画像の説明]に、適した内容(この場合は「PDF」)を入力します。



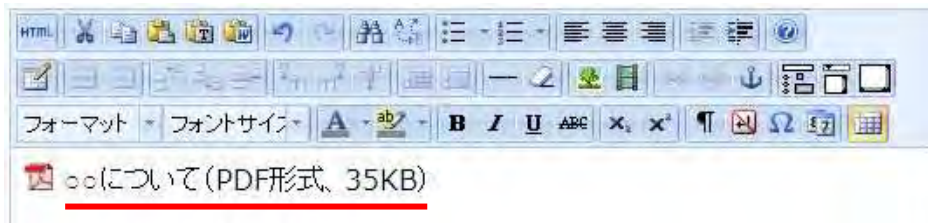
4. 次に、[表示]タブを選択し、クラスに「fileicon」を指定します。
→この指定により、公開ページに不要な青枠が表示される事がなくなります。



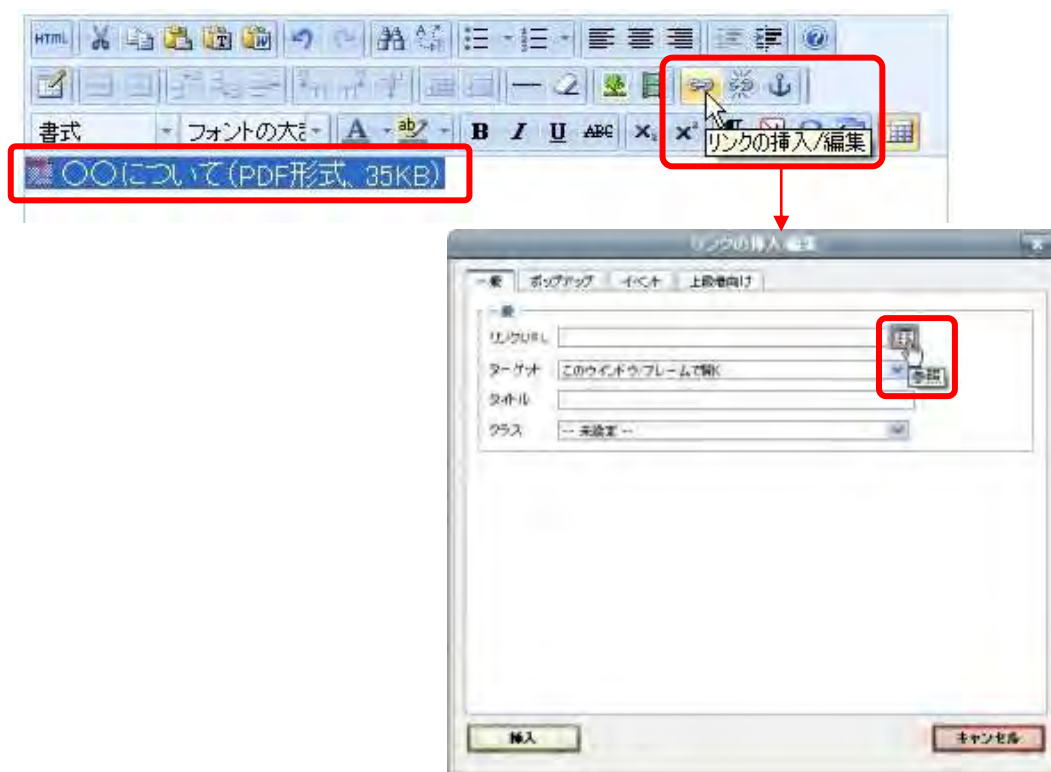
5. [更新]ボタンをクリックすると、PDF アイコンが表示されます。



6. リンク文字列とファイル形式、ファイルサイズを入力します。



7. アイコンと文字列を選択した状態で、「リンクの挿入/編集」ボタンをクリックします。



8. 「参照」ボタンをクリックし、「1.6 リンクを挿入する」と同様の手順で、PDF ファイル等を選択します。
 9. 「リンクの挿入/編集」ウィンドウの「挿入」ボタンをクリックすると、選択された文字列に PDF ファイル等へのリンクが設定されます。



1.8 Word で作成済みの文書をコピーして作成する

1. Word 文書を開き、貼り付けたい部分の文章をコピーします。



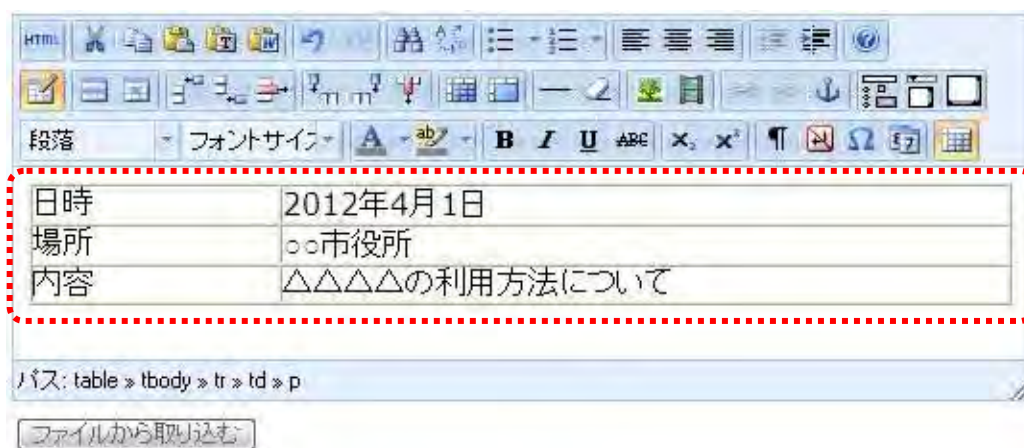
2. リッチテキストエディタを開き、「ワードから貼り付け」ボタンをクリックします。




3. 不要なスタイル情報が除かれた形で、コピーした情報が貼り付けられます。

※Windowsの通常の「貼り付け」機能を使用した場合、Word側で持っているフォント種別やフォントサイズ等の情報も貼り付けられてしまいます。

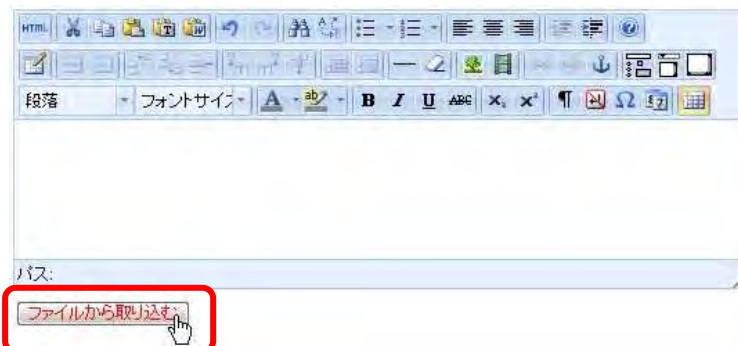
(例:)



※テキスト情報だけを貼り付けたい場合は、2.の操作で、「書式なしで貼り付け」ボタンをクリックして下さい。

1.9 作成済みの HTML ファイルを取り込んで作成する

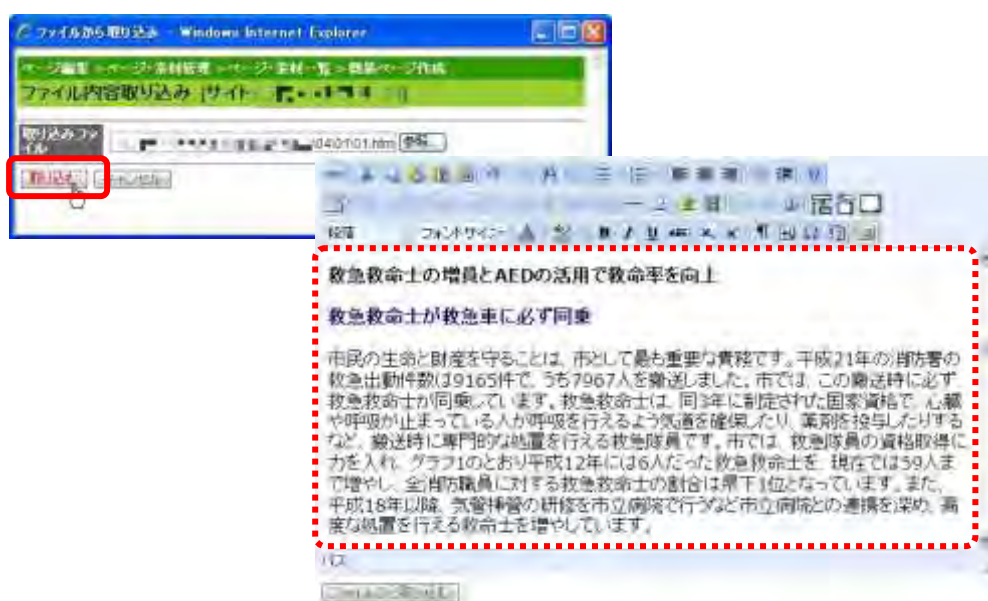
1. リッチテキストエディタを開き、「ファイルから取り込む」ボタンをクリックします。



2. 「参照...」ボタンをクリックし、取り込むHTMLファイルを指定します。



3. 「取り込み」ボタンをクリックすると、指定したHTMLの<body>〜</body>の内側がリッチテキストエディタに取り込まれます。

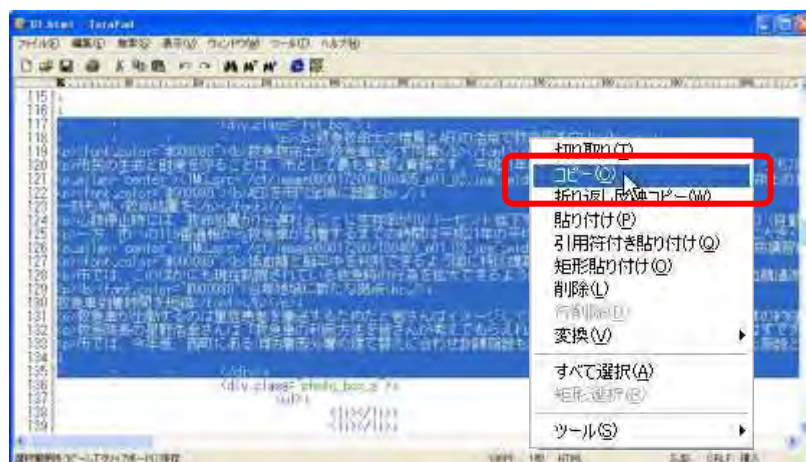


1.10 作成済みの HTML ソースを貼り付けて作成する

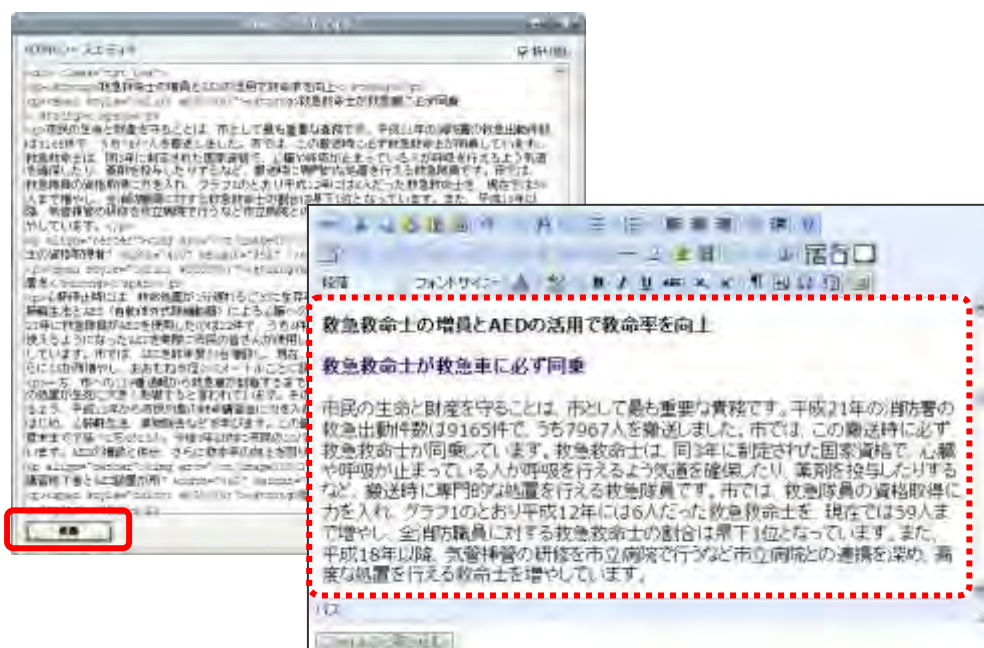
1. リッチテキストエディタを開き、「HTMLソース編集」ボタンをクリックします。



2. 作成済みのHTMLソースをテキストエディタ等で開き、HTMLソースをコピーします。



3. コピーしたHTMLソースを「HTMLソース編集」ウィンドウへ貼り付けし、「更新」ボタンをクリックすると、リッチテキストエディタに貼り付けたソースが反映されます。



リッチテキストエディタには、以下の制約事項があります。

【制約事項】

以下の操作はサポート対象外となります。

- (A) リッチテキストエディタを使用した SCRIPT/NOSCRIPT/STYLE 要素の入力・修正。
(外部ファイルとして読み込んだ JavaScript ファイル内の関数を、リンクの onclick 属性等で使用する事は可能です。但しリッチテキストエディタの初期値として制限されている属性を利用する場合は、設定ファイルの変更が必要となります。)
- (B) リッチテキストエディタを使用した FRAME、FRAMESET または IFRAME 要素の入力・修正。
- (C) タグ入力、タグ閉じ漏れ等のミスに起因するエラー。

以下の動作は仕様です。

- (D) ソースエディタを使って隠しフィールドを入力した場合、エディタのメイン画面には隠しフィールドが表示されます。
- (E) FONT タグは自動的に SPAN タグに変換されます。